

第2回

丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会

日 時：令和4年11月22日（火）

10：00～

場 所：丸森町役場 第1委員会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 検討事項

（1）検討部会の開催経過について

（2）丸森地区河川防災ステーション利活用方針について

（3）検討委員会への要望事項について

（4）その他

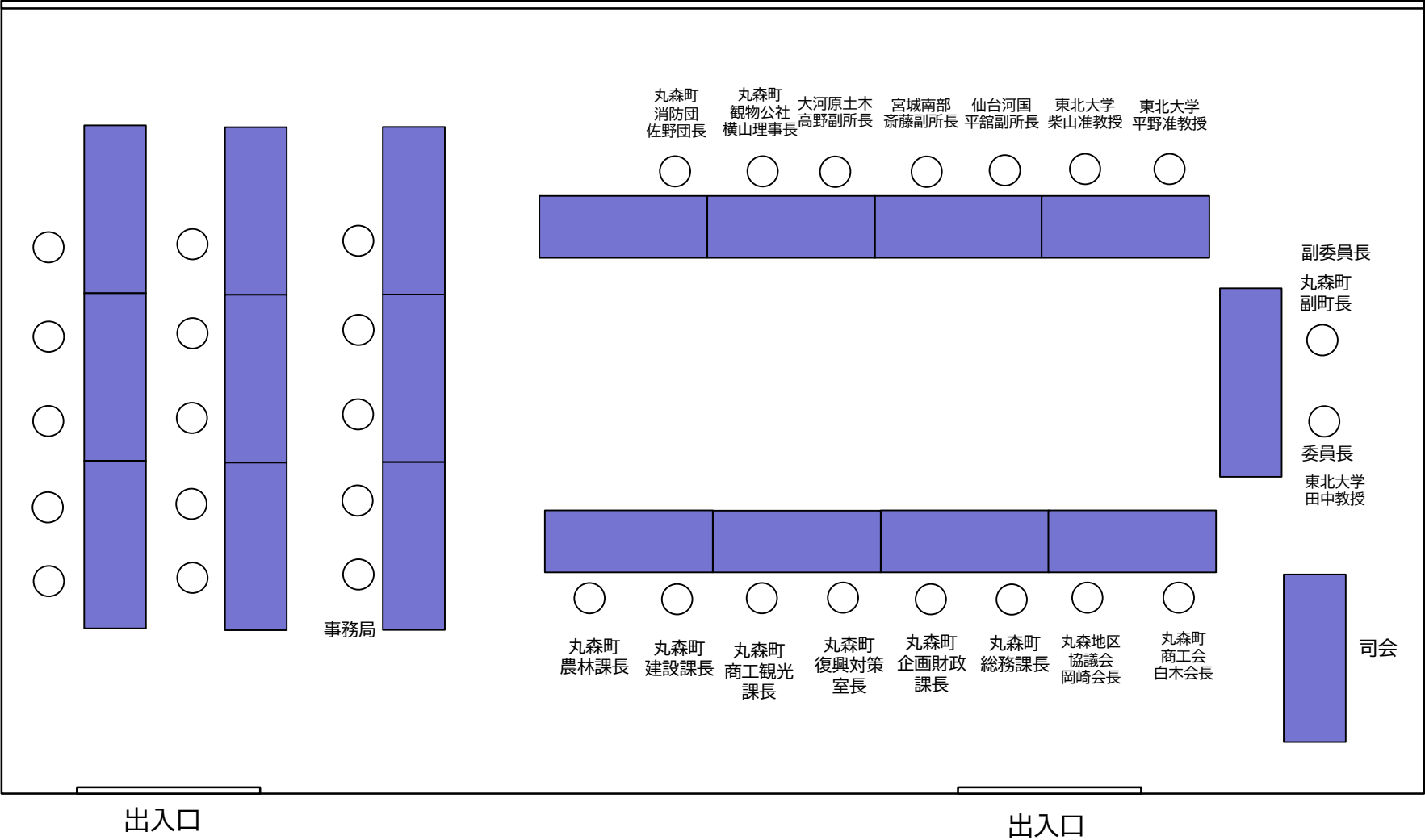
5 閉 会

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学	教養教育院 総長特命教授	田中 仁	委員長
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	柴山 明寛	
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	平舘 淳一	
国土交通省東北地方整備局	宮城南部復興事務所副所長	斎藤 巧	
宮城県	大河原土木事務所副所長	高野 晃	
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	
丸森町商工会	会長	白木 寛一	
丸森町消防団	団長	佐野 昭一	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	副委員長
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	復興対策室長	佐藤 徳和	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	宍戸 光晴	

丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会 配席図

資料－ 2

会場：丸森町役場 4階 第1委員会室



第2回丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会 説明資料

(丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会から委員会への報告・要望事項)



－ 目次 －

1 検討部会 開催経過	1
2 -① 防災ステーション利活用方針	2
2 -② 水防センター整備方針	5
2 -③ 整備・利活用イメージパース	6
3 検討委員会への要望事項	7
参考-1 周辺整備について	8
参考-2 計画地周辺 航空写真	9

1. 丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会 開催経過

- 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会設置要綱第7条の規定に基づき、「丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会」を設置した。
- 検討部会は、検討委員会の構成団体やそれまでに提案のあった利活用に関係する団体等で構成した。
- これまでに4回の検討部会を開催し、検討を進めてきた。

開催概要

No.	開催日時	検討内容
第1回	令和4年7月20日	・計画地見学 ・部会長選出、委員紹介 ・町観光の現状共有 ・川の駅としての利活用について ・民間活力の展開について
第2回	令和4年8月22日	・丸森の中心街の観光戦略、観光交流センター・水防センターの役割およびフットパス（川風トレイル）について ・対岸の高水敷を含めた新たな展開について ・水辺の楽校の展開について
第3回	令和4年9月22日	・建築ブロックプランについて ・河川防災ステーション計画への要望について ・トレイルルートの整備について
第4回	令和4年10月14日	・部会から委員会への報告・要望事項の確認 ・水防センターの整備・運営の体制および費用について ・先進事例視察について



第1回検討部会 計画地見学



第2回検討部会

検討部会 構成

団体名	所属	氏名
東北大学災害科学国際研究所	准教授	平野 勝也
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭
丸森町商工会	副会長	船山 俊一
丸森町消防団	副団長	佐藤 隆
熱中小学校 丸森復興分校	教頭	穴戸 克美
オープンジャパン	副代表	肥田 浩
まるもり女子重機隊		斎藤 百合子
MARUMORI-SAUNA	代表取締役	阿部 秀一
(有) 半澤牧場	代表取締役社長	半澤 善幸
JAみやぎ仙南	丸森地区事業本部長	阿部 喜知
丸森町 商工観光課	課長補佐	佐藤 勉
〃 復興対策室	課長補佐	阿部 憲裕
株式会社フードスタジオマンマ (MARUMORI CAFE)	代表取締役社長	中津川 かおり

部会での検討結果として、次の3つ について報告します。

- ① 防災ステーション利活用方針
- ② 水防センターの整備方針
- ③ 検討委員会への要望事項

2-① 防災ステーション利活用方針（概要）

➤ 平常時の利活用方法について、委員会の意見や部会で新たに提案された意見について検討を進めたところ、次のようなキーワードとアイデアが整理された。

キーワード

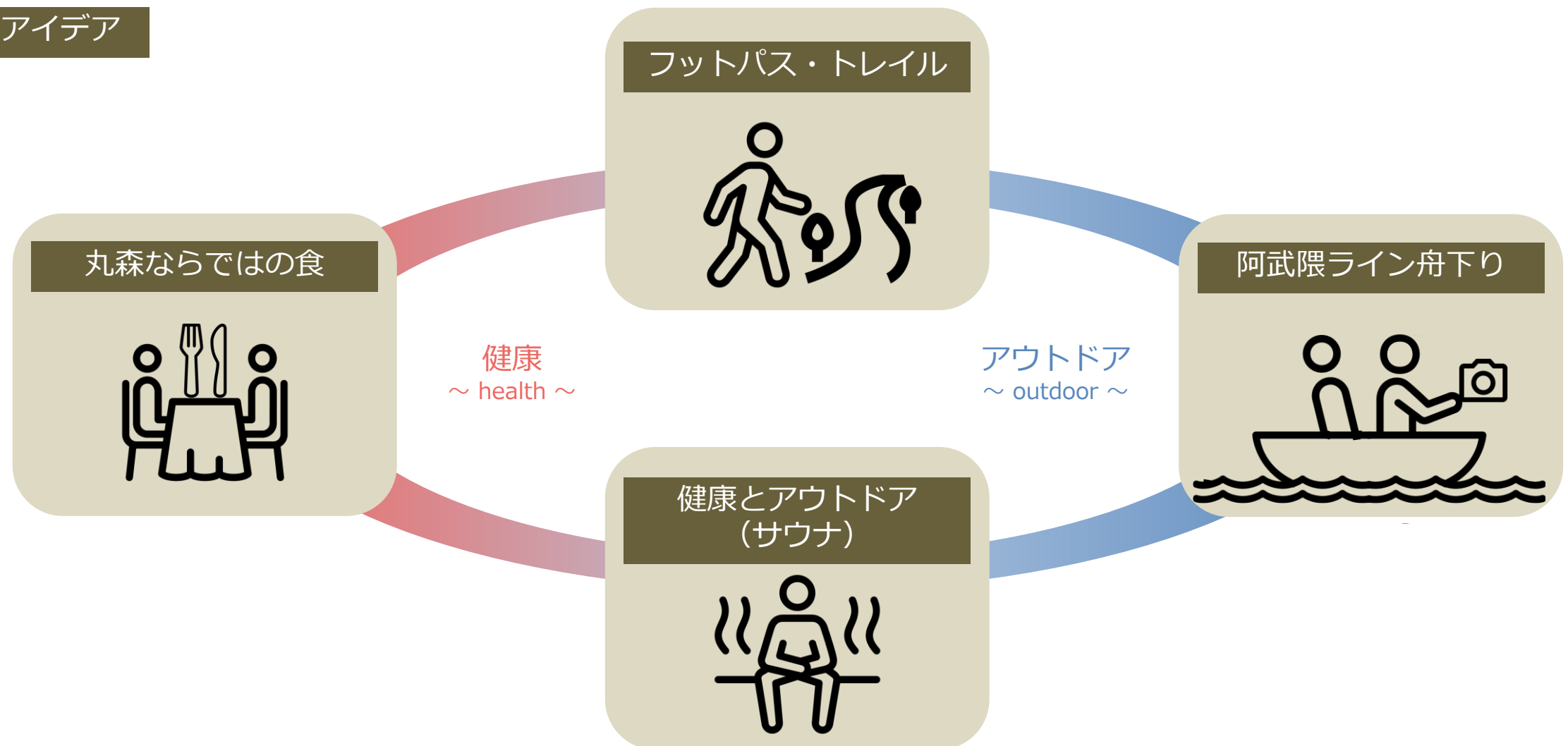
健康 ～ health ～

&

アウトドア ～ outdoor ～

訪れた人の健康増進に寄与するような野外アクティビティ等、丸森の豊かな自然を活かした利活用を展開する

利活用アイデア



■ 関連する主な意見

- ・ 今後、より具体的な検討を進め、PRに活用できるようなキャッチコピーを作成したい
- ・ 林業分野の担い手や放置竹林の解消に取り組むNPOなど、丸森の里山に関わる団体とも繋がりを持つ拠点としたい

2 - ① 防災ステーション利活用方針 (1. フットパス・トレイル、2. サウナ)

➤ 健康&アウトドアをキーワードとした具体的なアイデア

1. フットパス・トレイル

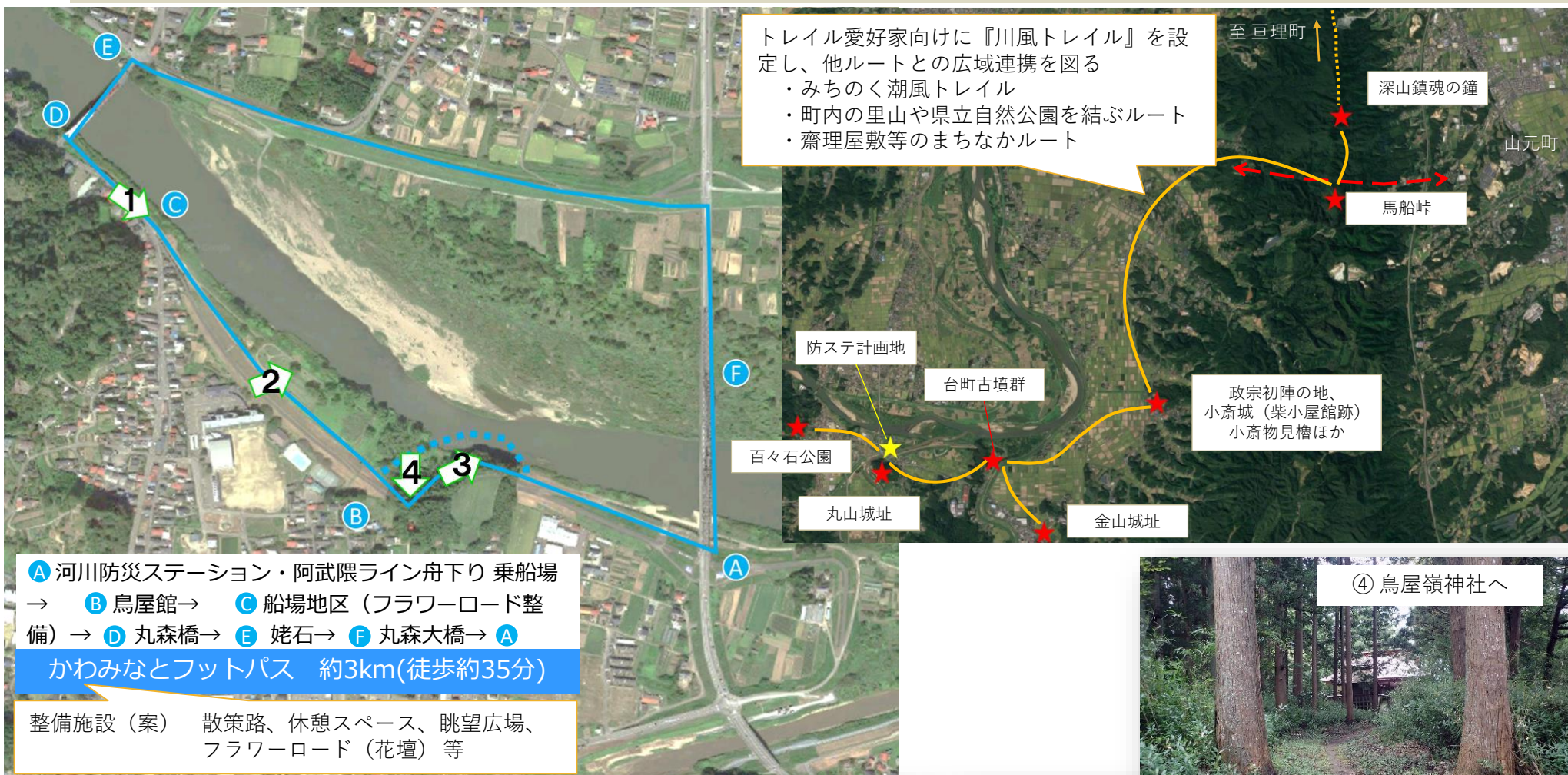
鳥屋館や3ヶ所の渡し舟（細内、神明、赤ヶ崎）があった「丸森の歴史の肝」である阿武隈川右岸を、散策路『かわみなとフットパス』として整備し、町と川のつながりを学ぶ。ロングトレイルとして、『みちのく潮風トレイル』に接続する広域ルートも併せて検討する。

2. サウナ

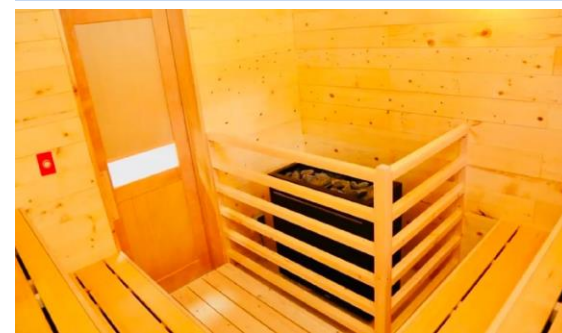
防ステ計画地の開放的なロケーションを活かし、丸森の豊かな自然へのゲートウェイとなるようなエントリーレベルのサウナを設置する。

3. 阿武隈ライン舟下り

4. 丸森ならではの食材・料理



【参考写真】 MARUMORI-SAUNA



2 - ① 防災ステーション利活用方針（3. 阿武隈ライン舟下り、4. 丸森ならではの食）

➤ 健康&アウトドアをキーワードとした具体的なアイデア

1. フットパス・トレイル

2. サウナ

3. 阿武隈ライン舟下り

今年度はナイトリバークルーズの運航やSUP・カヌーの体験も実施している

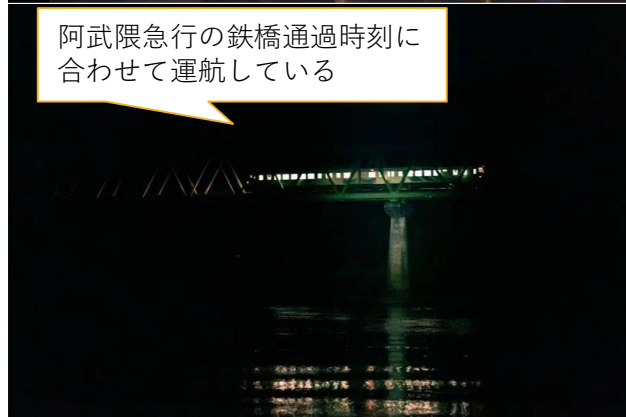
4. 丸森ならではの食

A2ミルク等、特色ある丸森の産品で、「ここでしか食べられない料理」を提供する

ナイトリバークルーズ



阿武隈急行の鉄橋通過時刻に合わせて運航している



所要時間：約1時間

料金：大人3,500円、子ども1,800円

拠点施設：阿武隈ライン舟下り乗船場

民家の灯りや街灯がほとんどないため、満点の星空を楽しめる



【事例写真】

あそ望の郷くぎの(熊本県南阿蘇村)
あじわい館の「あか牛丼」

特産の阿曽牛を使用した牛丼



【事例写真】

HASSENBA (熊本県人吉市)
九州パンケーキカフェ

地域に少ない形態・雰囲気のお店



丸森リバーアクティビティ (SUP、カヌー)

メニュー：SUP、カヌー (カヤック)

所要時間：約1時間半

料金：大人4,000円、子ども2,000円

拠点施設：阿武隈ライン舟下り乗船場



【参考】A2ミルク

A2ミルクとは、 β カゼインのタイプがA2タイプのミルク。おなかがゴロゴロしない。
町内の酪農家で生産に取り組んでいる。

NHK NEWS WEB

宮城 NEWS WEB

阿武隈川の“新しい楽しみ方”

09月13日 20時02分



宮城県の南部を流れる阿武隈川。その豊かな自然を体全体で感じてもらうと、丸森町では、去年から、ボードの上に立ってパドルをこいで進むSUPやカヌー体験が行われています。「てれまさむね」の岩間瞳キャスターが阿武隈川の新しい楽しみ方を体感。

鳥のさえずりや、みなもの揺らぎなど、川の魅力を間近で感じることができました。「NHK 宮城NEWS WEB」でご覧いただけます。

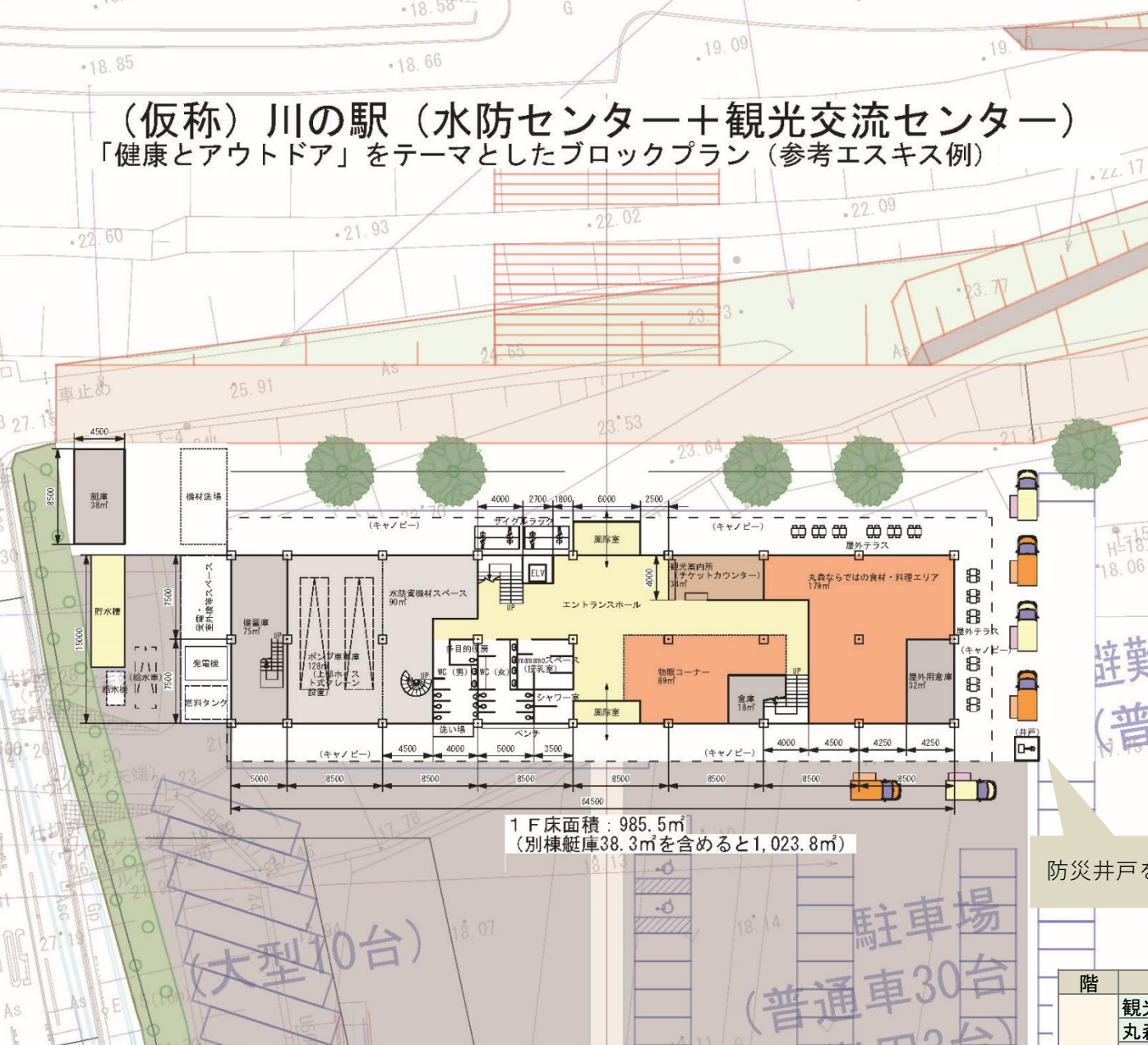


カヤックと体験者を
エントリー地点まで船で運搬

が「いいね！」しました

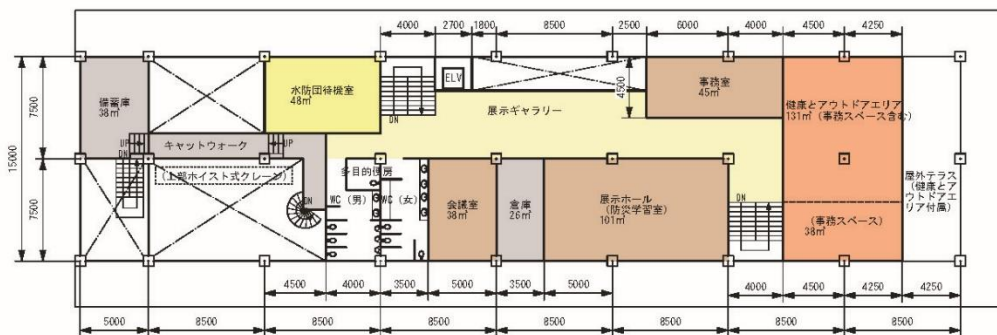
2-② 水防センターの整備方針

(仮称) 川の駅 (水防センター＋観光交流センター)
「健康とアウトドア」をテーマとしたブロックプラン (参考エスキス例)



1 F 床面積：985.5㎡
(別棟艇庫38.3㎡を含めると1,023.8㎡)

防災井戸を設置



2 F 床面積：707.2㎡

延床面積：1,692.7㎡
(別棟艇庫38.3㎡を含めると1,731.0㎡)

- 災害時に必要な機能、平常時の利活用に求められる機能からブロックプランを修正
- 総2階建てRC造、およそ延床面積1,700㎡、建設費8.4億円
- 有事の断水に備え、井戸を設置し、平常時から井戸水を活用する

規模

- ・総二階建て
- ・延床面積1,692㎡

建設費

- ・耐震性の高いRC造
- ・建築単価を50万円/㎡(160万円/坪)と仮定

→ 建設費 およそ8.4億円

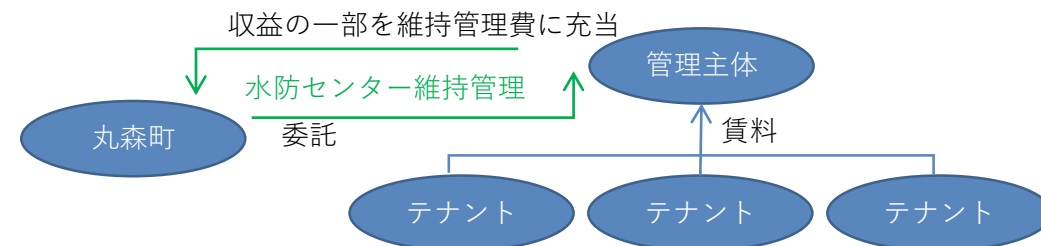
管理・運営体制

- ・管理主体の下、テナント形式で運営
- ・テナント賃料等の収益の一部を、維持管理費に充当

テナント構成 (案)

- ・観光交流に関する事業者
- ・舟運事業者
- ・飲食事業者 など

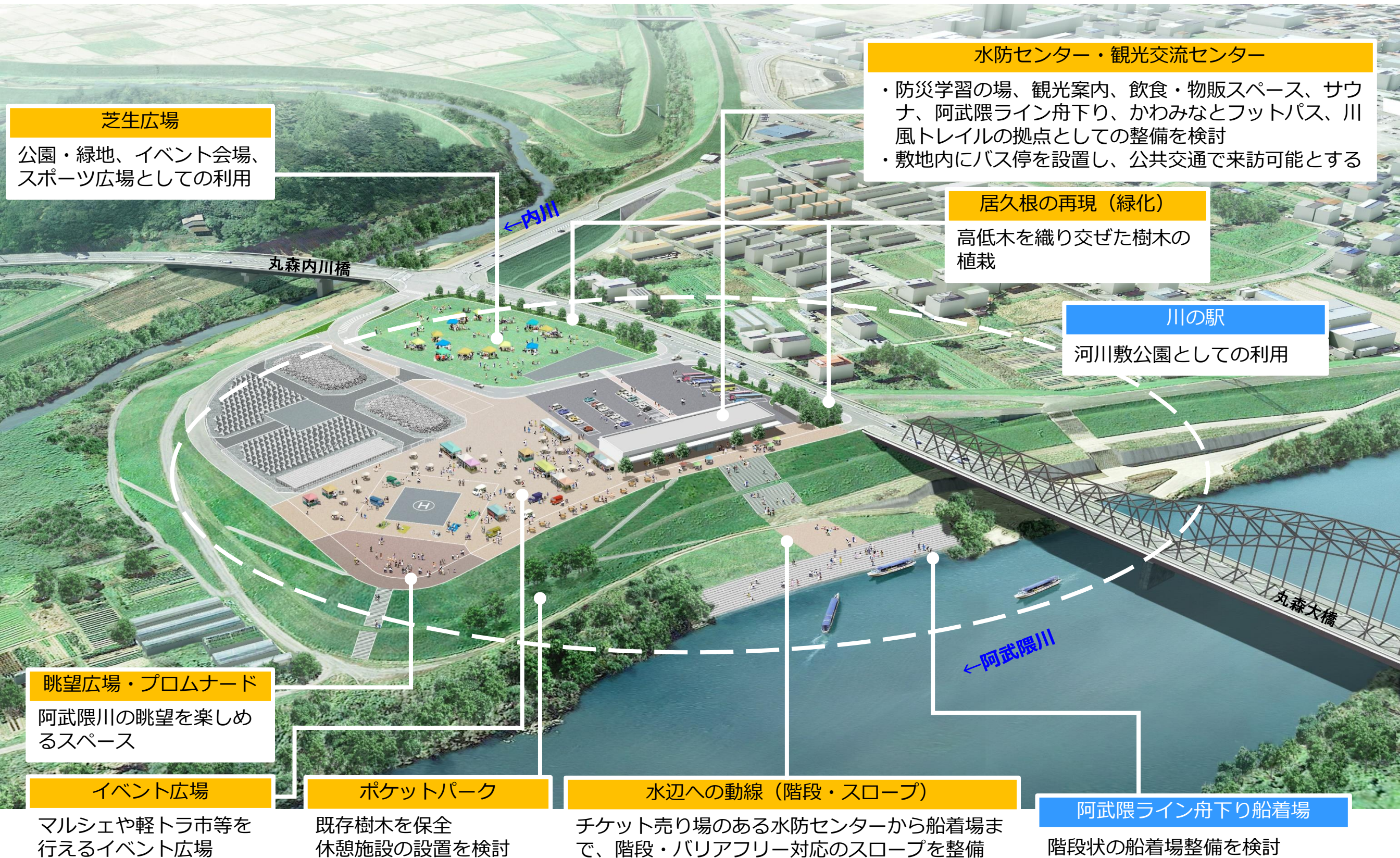
体制・スキームについては、今後の部会で継続して検討を行います



諸室の面積と機能

階	諸室名	面積(㎡)	面積(坪)	災害時の機能	平常時の機能
1階	観光案内所(チケット売り場)	34	10.3	-	やまゆり館の機能を移転
	丸森の食材・料理エリア(厨房含む)	179	54.1	炊き出し、要配慮者の受け入れ	テナントA
	物販コーナー	89	26.9	-	テナントB
	倉庫	18	5.4	-	テナントB
	水防資機材スペース	90	27.2	水防資機材を保管	水防資機材を保管
	ポンプ車庫	128	38.7	出動後は支援物資の集配拠点	町有ポンプ車2台
	備蓄庫	75	22.7	毛布・飲食物など	支援物資の集配拠点
	屋外用倉庫	32	9.7	-	日よけやイス・テーブルを保管
	その他(エントランスホール、トイレ・シャワーなど)	340.5	103.0	一時避難者にも開放	-
	艇庫(別棟)	38	11.5	救助用の艇	SUP・カヌー
	計	985.5	298.1		
2階	健康とアウトドアエリア(事務室含む)	131	39.6	要配慮者の受け入れ	テナントC
	展示ホール(防災学習室)	101	30.6	水防団指令室	防災学習展示
	倉庫	26	7.9	-	会議室の備品を収納
	会議室	38	11.5	打合せスペース	イベントの打合せや地域の集まり
	事務室	45	13.6	-	テナントD
	水防団待機室	48	14.5	水防団員の仮眠・休憩室	水防団訓練時の打合せ
	備蓄庫	38	11.5	毛布・飲食物など	支援物資の集配拠点
	その他(展示ギャラリー、トイレなど)	280.2	84.8	-	-
計		707.2	213.9		
テナントが家賃負担する諸室 計		496	150.0		
合計		1692.7	512.0		
5	(別棟の艇庫を含む 合計)	1730.7	523.5		

2-③ 丸森地区河川防災ステーション 整備・利活用イメージパース（平常時）



3 検討委員会への要望事項

- 平常時の利活用のため、河川防災ステーションの施設レイアウトに関連する要望として次の2点が挙げた
- 1. 観光拠点として利活用しやすくするため、備蓄資材が目立たないように、配置や植栽等の設えを工夫したい
- 2. 子どもの居場所・遊び場として利用できるようにしたい

設えの工夫

- ・観光拠点としての利活用促進ため、備蓄資材による圧迫感に考慮し、植栽等の目隠しの工夫を検討
- ・ヘリ航路による制限を考慮した上で、植樹や起伏で日陰や空間の演出を検討

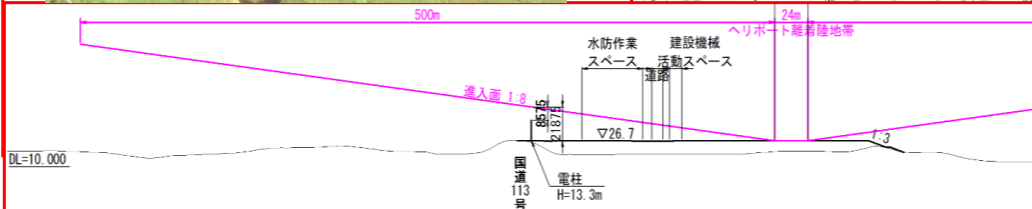
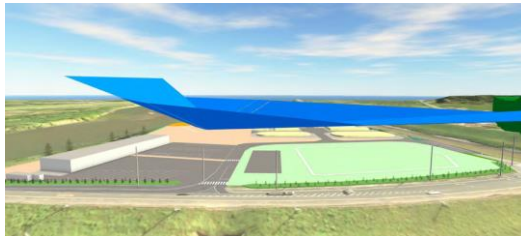
子どもの居場所・遊び場

- ・子育て世帯が立ち寄り、子どもは遊び保護者は一息つけるような場所
- ・町内の中高生・大学生にとって、学校と自宅以外の第3の居場所
- ・ブルーシートや段ボールを使って、堤防法面を滑り台のように活用

- ① 備蓄土砂埋設範囲周辺には、植樹や日よけ施設等の配置が可能
範囲内には、有事に移設できる可搬式の日よけ施設等の設置を検討



- ② ヘリ航路該当する区域は、上空が航路になるため樹木に高さ制限有り
A地点でH=約12m以下の植樹可能
B地点でH=約21m以下の植樹可能



- ③ 備蓄資材配置エリアの周囲に生垣や植樹等を配置し、観光拠点として資材が大きく目立たないように配慮

- ④ 道路側への土塁の配置や高低差を利用する等の工夫により、人工物（コンクリートブロック）による景観阻害に配慮



川リンピック（阿武隈川・渡利水辺の楽校）



古河公方公園（茨城県古河市）



樹種、植栽 事例・イメージ写真



シンボルツリー
（丸森のオオイチョウ）



居久根（スギなど）



水防活動(木流し工・木杭)に
使える木（クロマツなど）

対岸高水敷の樹木伐採

防ステから対岸への良好な景観を復活

高水敷の樹木は、環境面の機能（生態系保全、景観形成）に加え、治水上の問題（流下能力の低下、偏流や高速流の発生の要因となる）にも関わる。

河川管理者による伐採・維持管理の他、近年は、伐採や再繁茂抑制に繋がる高水敷の利用において、民間活力を導入している事例もある。

樹木伐採時には、堤内民地での耕作を含めた防ステからの見えに十分配慮する。

民間による利用（例）

- ・樹木の再繁茂抑制のため、牧草生産地として利用する
- ・樹木の再繁茂抑制のため、マレットゴルフ場等として、日常的に住民が利用する
- ・樹木の伐採や重機の操縦等、防災に関するイベント・ワークショップのフィールドとして利用する

公募伐採の事例

渡良瀬川の樹木を伐採・利用して頂ける方を募集しています

- ・対象者：資格審査はありますが、個人、NPO、企業、組合等 どなたでも応募可能です。
- ・利用制限：伐採した樹木は自由に利用できます。（樹木の採取料は無料です。）
- ・伐採場所：桐生市境野町地先の渡良瀬川河川内
- ・応募期間：平成30年9月3日から10月31日
- ・伐採期間：平成30年12月1日から3か月間

伐採場所（渡良瀬川）
渡良瀬川左岸（群馬県桐生市境野町地先）

留意事項
渡良瀬川河川事務所のHPより募集要領、留意事項をご確認のうえ、同HPに掲載している応募様式にて申請してください。
渡良瀬川河川事務所HP
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>
問い合わせ先
渡良瀬川河川事務所 管理課
TEL 0284-73-5557

丸森地区
河川防災ステーション

桜づつみ公園

丸山城址

川リンピック（H18年8月、震災前）



防災関連イベントの事例



牧草地としての利用



住民による踏み倒し（マレットゴルフ）

水辺の楽校

子供たちが水とふれあい、学習できる場
川に親しみを覚える環境を整備

利活用メニュー（案）

水遊び、環境学習、防災学習

整備（案）

- ・親水施設：水に近づいたり触れたりできる箇所を設ける
- ・渡河施設：河川防災ステーションと桜づつみ公園・丸山城址を結ぶ



丸山城址

対岸高水敷

桜づつみ公園